2　米・米加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について
（輸出拡大実行戦略のうち「米・パックご飯・加工米飯・米粉及び米粉製品」の輸出目標等）

1．国別輸出額目標

国名	2024年実績※	2030年目標※	国別のニーズ・規制に対応するための課題・方策
合計	136億円	922億円	－
米国	32億円	216億円	・　西海岸・東海岸の主要都市や日系事業者だけでなく、中部などの地方都市の市場の開拓及び非日系のレストランやスーパーを中心とした商流構築の拡大が課題 ・　中食・外食などの日系企業の海外展開を促進し、日本産米の利用拡大を図る ・　品目団体・JETRO・JFOODOが連携し、寿司やおにぎり等の米を使った日本食のプロモーションや商流構築を推進することで、上記課題の克服を図る ・　有機食品への関心の高まりを切り口に有機米の販売促進を図る
ＥＵ・英国	13億円	176億円	・　日本食の需要拡大にあわせて、日本産米のプロモーション等を実施しているが、輸出実績は小規模で現地に十分浸透していない ・　中食・外食などの日系企業の海外展開を促進し、日本産米の利用拡大を図る ・　品目団体・JETRO・JFOODOが連携し、米を使った日本食のプロモーションや商流構築を推進することで、寿司やおにぎり等の切り口で各国における非日系を含めた市場開拓・拡大を図る ・　品目団体による展示会への出展や商談会の開催のほか、他品目との連携による顧客の深掘りや、拡大するグルテンフリー市場において米粉・米粉製品の需要開拓を図る ・　容器・包装等の各種規制への対応に必要な取組を支援する ・　英国のCPTPP加入に伴う関税撤廃を追い風に更なる輸出拡大を図る ・　有機食品への関心の高まりを切り口に有機米の販売促進を図る
シンガポール・台湾・香港	61億円	141億円	・　輸出事業者が日系外食店・小売店を中心に需要を開拓しているが、一部では日本産米同士の競合が生じている ・　他国産ジャポニカ米が安価で販売されており、価格による競争は限界 ・「冷めてもおいしい」といった日本産米の特性を訴求し、既存の販路に加え、非日系のレストランやスーパーとの商流やECサイトなど新たな販路の構築により更なる需要開拓を図る ・　高級外食店・小売店に加え、手軽に食べられることが人気のおにぎり等のプロモーションを通じて日本産米の更なる市場開拓を図る
中国	0.8億円	128億円	・　指定精米工場及び登録くん蒸倉庫の追加や原発事故に伴う輸入規制の即時撤廃を、政府一丸となって強く働きかける ・　くん蒸対応の不要なパックご飯の需要拡大、認証の取得や必要な機械・設備の導入等を支援 ・　中食・外食などの日系企業の海外展開を促進し、日本産米の利用拡大を図る ・　インバウンド向けを含め、日本料理店等をターゲットとしたプロモーションやバイヤー招へい等を通じた商流構築を推進
カナダ	6億円	104億円	・　炊飯の習慣が必ずしも一般的ではない中で、より簡便に日本産米を食することが可能なパックご飯の需要拡大を図りつつ、寿司等の日本食の広がりに応じた日本産米の需要開拓を図る
その他（中東、豪州等）	24億円	157億円	・　中食・外食などの日系企業の海外展開を促進し、日本産米の利用拡大を図る ・　インバウンドによる食消費の拡大を通じた輸出拡大との好循環の形成を図る

※　四捨五入の関係で内訳の計と合計が一致しないことがある

2．輸出産地の育成・展開

育成すべき輸出産地	
【現状（2024年）】フラッグシップ輸出産地６産地 【目標（2030年）】フラッグシップ輸出産地30産地を目指す	
現状・課題	方策
・　供給が追いつかず、旺盛な海外需要に応えきれていない ・　他国産に比べ割高で、国際競争力も十分でない	・　農地の大区画化等の基盤整備、農地の集積・集約化による分散錯圃の解消等の生産基盤の強化の推進、官民をあげた多収品種の普及・開発の拡大、スマート農業等と低コスト生産技術の導入・定着、輸出産地の規模拡大等に伴う精米施設・乾燥調製施設の整備等により、低コストで生産できる大規模輸出産地の形成や海外需要のある有機米の作付け拡大を推進

3．加工施設等の整備及び認証の取得

現状・課題	方策
・　輸出先国・地域の規制等への対応が十分進んでいない ・　物流における低コスト化や輸送効率の改善が十分行われていない	・　パックご飯や加工米飯について、輸出先国・地域の規制に対応するための国際認証等の取得や輸出向け生産に必要な機械・設備の導入等を支援 ・　生産者と輸出事業者等のマッチングを促進する等、生産から販売までの国内外一貫したサプライチェーンの構築を推進 ・　国内流通も含め、低コスト化や作業効率の改善につながる産地から精米工場への推奨フレコンによる出荷や鉄道へのモーダルシフトを推進

4．品目別団体を中心とした販路開拓

現状・課題	方策
・　更なる輸出拡大が見込める主要輸出先国・地域での新たな購買層の深掘りや輸出事業者の進出が不十分な国・地域での市場開拓が不十分 ・　海外における日本産米の理解醸成が十分でない	・　（一社）全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会（全米輸）による輸出国・地域のマーケット情報の収集・発信、プロモーション活動を実施。実施に際しては、他の品目団体や輸出支援プラットフォームとも連携 ・　現地ニーズを踏まえた商品提案や商流構築を行うため、現地にエージェントを設置 ・　輸出支援プラットフォーム等とも連携して、消費者と事業者に対し、日本産米の多様性や特徴をＰＲするなど、マーケットに応じた訴求を図る ・　インバウンドによる食消費の拡大を通じた輸出拡大との好循環の形成を図る

３　ＭＡ米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）

輸入米の入札情報については、農林水産省ホームページの「農産」の分野別分類「米（稲）・麦・大豆」、品目別分類「輸入米麦入札関連資料」で御覧いただけます。
【 https://www.maff.go.jp/j/seisan/boueki/nyusatu/index.html 】

（単位：千玄米トン）

	米　国	タ　イ	中　国	オーストラリア	その他	合　計		
							うち一般輸入	うちSBS輸入※
平成7年度	194	107	32	87	5	426	415	11
平成8年度	233	144	40	87	6	511	488	22
平成9年度	290	151	46	95	13	596	537	55
平成10年度	313	152	78	109	29	681	551	120
平成11年度	339	159	86	115	24	724	591	120
平成12年度	356	168	99	120	24	767	632	120
平成13年度	364	146	136	110	11	767	655	100
平成14年度	361	153	112	96	44	767	710	50
平成15年度	355	153	110	90	51	759	647	100
平成16年度	361	185	98	20	103	767	661	94
平成17年度	362	186	84	19	116	767	655	100
平成18年度	358	179	76	52	102	767	654	100
平成19年度	358	243	82	－	13	696	585	100
平成20年度	430	261	72	－	6	769	658	100
平成21年度	358	332	71	－	5	767	655	100
平成22年度	356	345	19	40	6	767	725	37
平成23年度	358	241	56	71	40	767	658	100
平成24年度	362	281	46	64	13	767	656	100
平成25年度	359	351	1	41	15	767	700	61
平成26年度	359	332	55	14	6	767	754	12
平成27年度	359	344	56	1	6	767	734	29
平成28年度	376	375	3	7	7	767	685	73
平成29年度	365	264	56	74	8	767	655	100
平成30年度	359	316	69	14	8	767	701	59
令和元年度	360	306	83	0	17	767	681	77
令和2年度	360	322	70	－	15	767	699	60
令和3年度	345	314	69	27	12	767	743	21
令和4年度	236	398	81	40	11	767	751	14
令和5年度	348	333	28	41	16	767	693	66
令和6年度（3月末現在）	346	286	42	70	19	767	649	100

資料：　農林水産省「米をめぐる関係資料」
　　※ＳＢＳ輸入数量の単位は千実トン。
注：１　各年度の輸入契約数量の推移。
　　２　ラウンドの関係で合計と内訳が一致しないことがある。
　　３　千実トンと千玄米トンのため合計は一致しないことがある。
（参考）ＭＡ米以外で、枠外税率を支払って輸入されるコメの数量は、例年0.3～0.4千トン程度程度

4　加工原材料用に係る政府所有ＭＡ米の見積合せ結果（令和６年度）

（単位：実トン）

令和6年度(うるち)		令和5年度(うるち)	
令和6年4～6月分（長期契約）	31,350	令和5年4～6月分（長期契約）	12,448
4月分（月別契約）	290	4月分（月別契約）	310
5月分（月別契約）	3,225	5月分（月別契約）	384
6月分（月別契約）	3,543	6月分（月別契約）	560
令和6年4～6月小計	38,408	令和5年4～6月小計	13,702
7～9月分（長期契約）	26,446	7～9月分（長期契約）	16,008
7月分（月別契約）	351	7月分（月別契約）	161
8月分（月別契約）	577	8月分（月別契約）	339
9月分（月別契約）	1,029	9月分（月別契約）	978
令和6年7～9月小計	28,403	令和5年7～9月小計	17,486
10～12月分（長期契約）	24,512	10～12月分（長期契約）	17,526
10月分（月別契約）	382	10月分（月別契約）	448
11月分（月別契約）	1,591	11月分（月別契約）	383
12月分（月別契約）	3,266	12月分（月別契約）	1,354
令和6年10～12月小計	29,751	令和5年10～12月小計	19,711
令和7年1～3月分（長期契約）	26,769	令和6年1～3月分（長期契約）	29,745
1月分（月別契約）	391	1月分（月別契約）	339
2月分（月別契約）	389	2月分（月別契約）	243
3月分（月別契約）	1,194	3月分（月別契約）	1,694
令和7年1～3月小計	28,743	令和6年1～3月小計	32,021
令和6年度うるち合計	125,305	令和5年度うるち合計	82,920

令和6年度(もち)		令和5年度(もち)	
令和6年4～7月分	2,400	令和5年4～7月分	2,117
8～11月分	3,184	8～11月分	2,673
令和6年12～令和7年3月分	2,257	令和5年12～令和6年3月分	1,877
令和6年度もち合計	7,841	令和5年度もち合計	6,667

※うるち見積合せ結果のうち以下は契約解除
・４月分（月別契約）290トンのうち５トン
・７～９月分（長期契約）26,446トンのうち25トン

資料：農林水産省「加工原材料用に係る政府所有ミニマム・アクセス米の見積合せ結果の概要について」

5　ＳＢＳ輸入米の見積合せ結果（令和６年度）

（単位：実トン）

		アメリカ		タイ		中国		オーストラリア		その他		合計
		うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	
第1回（令和6年9月6日）	一般米	16,942	320	582		620		2,000		2,036		22,500
	砕精米							2,500				2,500
	計	16,942	320	582		620		4,500		2,036		25,000
第2回（令和6年10月18日）	一般米	15,676	260	670				1,500		4,394		22,500
	砕精米	760	100	1,640								2,500
	計	16,436	360	2,310				1,500		4,394		25,000
第3回（令和6年11月22日）	一般米	12,662	400	896	90	320		7,496		636		22,500
	砕精米	1,200	200	200				500		400		2,500
	計	13,862	600	1,096	90	320		7,996		1,036		25,000
第4回（令和6年12月20日）	一般米	9,824	756	2,848		40		130		8,902		22,500
	砕精米	1,032	480	420	108					460		2,500
	計	10,856	1,236	3,268	108	40		130		9,362		25,000
令和6年度計	一般米	55,104	1,736	4,996	90	980	0	11,126	0	15,968	0	90,000
	砕精米	2,992	780	2,260	108	0	0	3,000	0	860	0	10,000
	計	58,096	2,516	7,256	198	980	0	14,126	0	16,828	0	100,000
令和5年度計（参考）	一般米	31,102	1,960	7,159	162	1,234	0	1,012	0	8,827	72	51,528
	砕精米	11,730	500	600	234	0	0	0	0	940	0	14,004
	計	42,832	2,460	7,759	396	1,234	0	1,012	0	9,767	72	65,532
令和4年度計（参考）	一般米	54	1,116	4,111	184	0	0	0	0	3,793	0	9,258
	砕精米	908	300	1,360	316	200	0	0	0	1,400	0	4,484
	計	962	1,416	5,471	500	200	0	0	0	5,193	0	13,742
令和3年度計（参考）	一般米	1,094	2,492	4,132	222	670	0	0	0	5,202	0	13,812
	砕精米	4,534	300	1,700	0	440	0	0	0	600	0	7,574
	計	5,628	2,792	5,832	222	1,110	0	0	0	5,802	0	21,386
令和2年度計（参考）	一般米	25,727	1,732	4,384	180	1,620	0	0	0	8,678	0	42,321
	砕精米	14,342	300	2,310	0	500	0	0	0	500	0	17,952
	計	40,069	2,032	6,694	180	2,120	0	0	0	9,178	0	60,273
令和元年度計（参考）	一般米	32,937	2,596	4,435	126	1,540	0	260	0	10,359	0	52,253
	砕精米	19,210	600	2,360	600	520	0	0	0	1,000	0	24,290
	計	52,147	3,196	6,795	726	2,060	0	260	0	11,359	0	76,543

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」

6　CPTPP・国別枠の見積合せ結果（令和７年度）

		オーストラリア	
		うるち	もち
第１回 （令和7年５月27日）	一般米	1,200	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	1,200	0
令和7年度計	一般米	1,200	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	1,200	0
令和6年度計 （参考）	一般米	6,960	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	6,960	0
令和5年度計 （参考）	一般米	6,198	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	6,198	0
令和4年度計 （参考）	一般米	520	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	520	0
令和3年度計 （参考）	一般米	620	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	620	0
令和2年度計 （参考）	一般米	595	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	595	0

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」

６　主食用米以外の情報

１　加工用米及び新規需要米等の生産状況

（１）加工用米の生産量

（単位：トン）

	うるち米	もち米	合計	（参　考） 全国流通	（参　考） 地域流通
平成22年産	190,883	21,945	212,829	134,958	77,870
23年産	122,699	31,856	154,555	46,087	108,468
24年産	148,695	32,190	180,885	65,821	115,064
25年産	178,411	29,471	207,882	82,534	125,348
26年産	232,315	34,053	266,368	110,914	155,455
27年産	205,448	47,739	253,186	95,747	160,771
28年産	219,454	58,943	278,397	99,972	178,367
29年産	215,531	63,532	279,063	100,249	183,755
30年産	221,580	52,611	274,191	117,617	165,185
令和元年産	203,740	49,186	252,926	100,798	155,741
2年産	194,452	48,736	243,188	97,543	150,309
3年産	195,333	66,867	262,200	98,608	163,792
4年産	201,345	69,644	270,989	101,576	174,078
5年産	195,311	70,965	266,276	95,642	174,506
6年産	208,354	69,020	277,373	102,366	175,007

資料：　農林水産省「加工用米生産量」
注１：　「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」の規定により報告された生産集出荷数量。
注２：　令和６年産は、地域の基準単収を使用し、算定された生産数量見込みであり、作柄等が反映された生産量（実績）とは異なる。
注３：　参考の全国流通は、取組主体が全国生産出荷団体であるもの。地域流通は、取組主体が都道府県出荷団体、認定方針作成者及び農業者であるものの合計。
注４：　参考の平成27年産以降は、認定計画ベースの値。このため、合計（実績値）と一致しない。
注５：　ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

（２）新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移

（単位：面積ha、生産量トン）

	新規需要米 合　計		米粉用米		飼料用米		WCS用稲（稲発酵組飼料用稲）	新市場開拓用米（輸出用米等）		酒造用米		バイオエタノール用米		その他（わら専用稲・青刈り用稲）	
	面　積	生産量	面　積	生産量	面　積	生産量	面　積	面　積	生産量	面　積	生産量	面　積	生産量	面　積	生産量
22年産	37,072	97,632	4,957	24,639	14,883	68,011	15,939	388	1,959	－	－	397	2,488	508	535
23年産	65,569	202,572	7,324	36,842	33,955	160,900	23,086	287	1,514	－	－	415	2,553	501	763
24年産	68,091	205,150	6,437	32,617	34,525	166,537	25,672	454	2,423	－	－	450	2,783	553	790
25年産	53,744	134,865	3,965	20,444	21,802	108,576	26,600	507	2,665	－	－	414	2,566	457	614
26年産	71,073	218,712	3,401	18,352	33,881	186,564	30,929	1,092	6,003	859	4,255	384	2,458	527	1,080
27年産	125,454	478,562	4,245	22,975	79,766	440,066	38,226	1,547	8,289	1,387	6,857	－	－	283	375
28年産	139,028	540,344	3,428	19,014	91,169	505,998	41,366	1,437	7,903	1,420	7,027	－	－	207	402
29年産	142,738	542,308	5,307	28,408	91,510	499,499	42,893	1,328	7,159	1,448	7,213	－	－	252	30
30年産	131,048	473,359	5,295	27,695	79,535	426,521	42,545	3,578	19,143	－	－	－	－	96	－
元年産	124,477	439,544	5,306	27,964	72,509	389,264	42,450	4,097	22,316	－	－	－	－	114	－
2年産	126,205	446,901	6,346	33,391	70,883	380,502	42,791	6,089	33,008	－	－	－	－	96	－
3年産	174,497	741,209	7,632	41,615	115,744	662,724	44,248	6,748	36,869	－	－	－	－	124	－
4年産	206,203	889,073	8,403	45,903	142,055	803,390	48,404	7,248	39,780	－	－	－	－	92	－
5年産	203,729	834,965	7,587	40,298	133,925	744,893	53,055	9,091	49,775	－	－	－	－	71	－
6年産	172,790	622,900	6,330	33,333	98,666	527,181	56,479	11,246	62,386	－	－	－	－	69	－

資料：　農林水産省「新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移（平成２２年産～令和６年産）」
注１：　令和６年産の生産量は、地域の基準単収を使用し、算定された生産数量見込みであり、作柄等が反映された生産量（実績）とは異なる。
注２：　「ＷＣＳ用稲」及び「その他」のうち、わら専用、青刈り用稲については子実を採らない用途であるため生産量を取りまとめていない。
注３：　「酒造用米」は、「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」（以下「要領」）に基づき生産数量目標の枠外で生産された玄米であり、平成30年産以降は取りまとめていない。
注４：　平成30年産以降の「バイオエタノール用米」は 、要領の改正により「新市場開拓用米」に含まれている。
注５：　「－」は、事実がない又は認定及び取りまとめを行っていないことを表す。また、ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

（３）令和６年産　都道府県別の生産状況

（単位:トン）

産　地	加工用米			新規需要米				政府備蓄米	合計
		うるち米	もち米		飼料用米	新市場開拓用米	米粉用米		
全国	277,373	208,354	69,020	622,900	527,181	62,386	33,333	172,016	1,072,289
北海道	38,448	25,985	12,464	44,709	29,763	14,081	865	4,686	87,843
青　森	4,298	3,873	424	35,219	32,230	2,931	58	24,416	63,933
岩　手	7,018	5,624	1,394	28,216	25,750	2,372	95	3,415	38,650
宮　城	5,174	4,175	1,000	45,974	39,055	6,456	464	11,276	62,425
秋　田	49,112	28,512	20,600	18,553	13,841	3,159	1,552	14,512	82,177
山　形	25,884	23,274	2,610	31,512	28,010	2,883	620	20,195	77,591
福　島	2,409	2,123	286	37,766	36,678	1,007	80	26,313	66,487
茨　城	6,897	6,558	339	60,897	54,572	5,820	505	616	68,410
栃　木	10,419	10,150	270	66,603	61,683	333	4,588	5,773	82,796
群　馬	6,816	6,816		6,104	5,050	11	1,043		12,920
埼　玉	726	726		14,958	10,052	294	4,612	204	15,888
千　葉	11,476	6,707	4,769	37,832	36,906	264	662	642	49,950
東　京									
神奈川				58	57		1		58
新　潟	37,469	21,284	16,185	33,404	15,597	10,088	7,719	24,499	95,372
富　山	6,215	4,621	1,594	14,263	10,516	2,009	1,738	10,261	30,739
石　川	2,881	2,182	699	4,326	2,596	477	1,254	874	8,081
福　井	2,576	2,105	471	9,860	7,877	1,334	649	2,500	14,936
山　梨	373	369	4	201	90		111		574
長　野	4,657	4,450	207	4,044	1,951	1,895	199	1,352	10,053
岐　阜	5,412	5,406	6	14,095	13,060	679	355	423	19,930
静　岡	514	514		4,080	4,035	3	42	19	4,613
愛　知	3,280	3,060	220	8,198	6,502	213	1,483	722	12,200
三　重	883	816	67	10,736	9,713	637	386		11,619
滋　賀	2,616	2,209	407	9,303	7,722	1,324	256	1,159	13,077
京　都	2,682	2,666	15	762	601	102	60		3,444
大　阪	1	1		34	30		4		35
兵　庫	3,372	3,092	280	4,762	3,501	1,061	200		8,134
奈　良	57	57		327	165		162		384
和歌山				16	11		5		16
鳥　取	88	88		3,902	3,735	164	4	389	4,380
島　根	1,051	947	104	3,846	3,797	12	36	126	5,023
岡　山	1,533	1,443	90	7,498	6,003	1,082	413	191	9,221
広　島	1,900	1,781	119	2,699	1,905	292	502	28	4,627
山　口	5,013	4,922	91	5,628	5,025	522	81		10,641
徳　島	92	89	2	3,118	2,882	180	56	235	3,445
香　川	261	261		1,164	952	174	38		1,425
愛　媛	224	224		1,598	1,572		26		1,822
高　知	410	410		4,665	4,562		102	10	5,085
福　岡	1,093	573	520	11,858	10,631	64	1,163	35	12,987
佐　賀	2,054	107	1,947	3,797	3,658	52	86		5,851
長　崎	27	27		657	610	22	25		684
熊　本	3,535	1,787	1,748	8,299	7,256	202	841		11,834
大　分	771	771		9,170	9,108	25	37	91	10,031
宮　崎	10,591	10,591		4,594	4,333	158	103		15,185
鹿児島	6,997	6,910	87	3,590	3,538	5	48		10,587
沖　縄	67	67		5	1		4		72

資料：　農林水産省「加工用米生産量（年産別、都道府県別）」、「令和６年産新規需要米生産集出荷数量」、「令和６年産備蓄米の政府買入入札の結果」
注１：　加工用米及び新規需要米の生産量は、地域の基準単収を使用し、算定された生産数量見込みであり、作柄等が反映された生産量（実績）とは異なる。
注２：　政府備蓄米の合計は、買入対象米穀の産地の指定無し分17,054トンを含んでいる。
注３：　ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

（４）加工用米及び新規需要米における多収性品種

① 需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領に定める品種

品種名
あきいいな、亜細亜のかおり、いわいだわら、笑みたわわ、えみゆたか、オオナリ、きたげんき、北瑞穂、クサホナミ、たちじょうぶ、ふくのこ、ふくひびき、べこあおば、べこごのみ、北陸193号、ホシアオバ、ミズホチカラ、みなちから、モグモグあおば、もちだわら、モミロマン、夢あおば

② 都道府県知事の申請に基づき地方農政局長等が特に認める品種（特認品種）

都道府県	品種名
北海道	そらゆたか
青森県	ゆたかまる
岩手県	つぶゆたか、つぶみのり、たわわっこ
宮城県	東北211号
秋田県	秋田63号、たわわっこ
山形県	山形22号、山形糯110号
福島県	たちすがた、アキヒカリ、まいひめ
茨城県	月の光、あきだわら、ちほみのり
栃木県	月の光
群馬県	月の光
埼玉県	むさしの26号
千葉県	アキヒカリ、初星
山梨県	ふくおこし
長野県	ふくおこし
静岡県	どんとこい、あきだわら、月の光
新潟県	新潟次郎、アキヒカリ、ゆきみのり、亀の蔵、いただき、ゆきみらい
富山県	やまだわら、アキヒカリ
石川県	アキヒカリ、とよめき、やまだわら
福井県	あきだわら、シャインパール
岐阜県	あきだわら、アキヒカリ
愛知県	タチアオバ、たちはるか、とよめき、もみゆたか

都道府県	品種名
三重県	タチアオバ、あきだわら、やまだわら
滋賀県	吟おうみ
京都府	あきだわら、やまだわら
兵庫県	あきだわら、兵庫牛若丸
鳥取県	日本晴、コガネヒカリ
島根県	みほひかり
岡山県	中生新千本、とよめき、やまだわら
広島県	中生新千本
山口県	あきだわら
徳島県	あきだわら
愛媛県	媛育71号
高知県	とよめき、たちはるか
福岡県	ツクシホマレ、夢一献、タチアオバ
佐賀県	レイホウ、さがうらら
長崎県	夢十色
熊本県	タチアオバ、越のかおり
大分県	タチアオバ
宮崎県	タチアオバ、み系358、宮崎52号、ひなたみのり
鹿児島県	タチアオバ、ルリアオバ、ミナミユタカ、夢十色、夢はやと、くいつき

（５）新規需要米における米粉用向け専用品種

① 需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領に定める品種

品種名
亜細亜のかおり、あみちゃんまい、越のかおり、笑みたわわ、北瑞穂、こなだもん、ふくのこ、ほしのこ、ミズホチカラ

② 都道府県知事の申請に基づき地方農政局長等が特に認める品種（特認品種）

都道府県	品種名
青森県	あおもりっこ
宮崎県	ひなたみのり

2　米加工品の状況

（１）主な米加工品の生産状況

（トン、kℓ）

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年（1～3月）	対前年同期比
加工米飯	390,170	398,750	404,707	409,034	428,950	440,068	471,765	112,484	104%
レトルト米飯	28,163	27,474	27,245	27,885	32,435	41,713	46,534	11,053	112%
無菌包装米飯	170,218	182,797	197,185	206,179	213,376	208,654	216,270	51,938	106%
冷凍米飯	181,559	178,068	171,307	166,099	174,158	181,357	200,050	47,237	102%
チルド米飯	4,845	4,520	3,894	3,624	3,245	2,885	2,895	627	92%
缶詰米飯	553	526	422	422	451	395	402	89	80%
乾燥米飯	4,832	5,365	4,654	4,825	5,285	5,063	5,614	1,540	92%
米　菓	221,481	221,796	219,437	214,587	212,519	203,933	202,915	49,174	327%
あられ	93,504	92,259	93,506	93,836	93,674	90,294	90,526	22,363	339%
せんべい	127,977	129,537	125,931	120,751	118,845	113,639	112,389	26,811	318%
味　噌	478,068	481,574	474,700	462,083	468,027	457,850	456,487	109,190	346%
米みそ	408,093	412,038	404,717	394,187	399,840	391,542	394,048	94,350	360%
調合みそ	28,483	27,950	28,805	28,687	31,263	31,627	30,777	7,757	335%
（麦みそ）	16,166	15,555	16,466	15,653	13,275	12,977	12,439	2,948	268%
（豆みそ）	25,326	26,031	24,712	23,556	23,649	21,704	19,223	4,135	220%
米穀粉	93,956	91,179	91,076	84,964	92,470	96,998	102,740	25,202	346%
上新粉	45,643	43,345	40,559	35,918	42,676	42,984	43,007	10,175	353%
もち粉	9,663	9,406	8,280	8,812	9,683	9,728	10,499	2,550	317%
白玉粉	4,821	4,742	4,851	4,062	4,068	4,282	4,181	982	309%
寒梅粉	1,534	1,560	1,485	1,492	1,507	1,535	1,491	380	275%
らくがん粉・みじん粉	984	1,120	1,013	993	1,008	732	769	166	325%
だんご粉	1,310	1,159	1,114	1,016	1,042	1,002	995	237	329%
菓子種	2,506	2,508	2,528	2,183	1,885	1,947	2,126	448	212%
新規米粉	27,495	27,339	31,246	30,488	30,601	34,787	39,672	10,264	367%
包装もち	59,536	60,894	66,181	65,570	67,696	70,812	68,150	12,923	383%
日本酒	495,052	466,872	418,507	404,299	404,486	390,443	378,599	83,787	97%
特定名称酒	170,642	164,641	142,121	138,084	145,394	145,644	143,370	31,558	100%
吟醸酒	23,126	22,240	19,682	19,464	19,736	18,727	18,803	3,908	357%
純米吟醸酒	45,377	45,491	40,362	41,611	45,582	47,645	46,937	10,421	98%
純米酒	63,998	61,799	54,729	52,669	55,250	55,035	55,179	12,612	101%
本醸造酒	38,141	35,111	27,349	24,339	24,826	24,237	22,452	4,617	96%
一般酒	324,410	302,231	276,386	266,215	259,092	244,800	235,229	52,229	94%
単式蒸留焼酎	441,824	424,569	411,894	389,556	392,344	371,022	355,068	74,832	94%
いも焼酎	189,979	182,169	176,801	164,226	165,230	154,434	146,185	31,959	99%
米焼酎	36,362	34,531	31,507	29,552	29,897	29,690	29,086	6,075	89%
（麦焼酎）	176,608	171,222	168,352	162,420	163,487	153,416	149,080	32,455	95%

資料：加工米飯、米菓、味噌、米穀粉及び包装もちは、食品産業動態調査（農林水産省）。日本酒及び単式蒸留焼酎は、日本酒造組合中央会調べ。

注1：日本酒及び単式蒸留焼酎は、課税移出数量。令和6年及び令和7年は概算値。石川県のデータが令和5年12月以降一部未集計。

注2：日本酒の一般酒は、日本酒全体から特定名称酒の数量を差し引いて算出。

（２）令和３米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況（推計）

- 日本酒、米菓、米穀粉などの原料として使用される米穀の令和３米穀年度における使用量は、日本酒の出荷量の減少等により、対前年▲５万トンの約86万トン（推計）。
- 種類別には、うるち米が約67万トン、もち米が約19万トン。制度別には、主食用米、加工用米及び特定米穀などの国産米が約78%。残りの約22%はＭＡ米及び輸入米粉調製品の外国産米。
- 用途別には、日本酒において加工用米を中心に使用量が減少。

＜うるち米＞　（単位：万玄米トン）

用途＼制度	主食用米	加工用米	新規需要米（米粉用米）	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
日本酒用	9 (7)	6		3			18 (7)
米菓用	1	2		5	3	2	12
加工米飯用（無菌包装米飯除く）	2	8					10
味噌用		1		4	4		9
焼酎用（泡盛含む）		1		3	1		6
米穀粉用		1	4	1	2	1	8
その他用	1	1		1	1		4
合計	12	20	4	17	11	3	67

＜もち米＞　（単位：万玄米トン）

用途＼制度	主食用米	加工用米	新規需要米（米粉用米）	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	4	3				1	8
米菓用	1	2		2		1	6
米穀粉用		1				1	2
加工米飯用（無菌包装米飯除く）	1						1
その他用						1	2
合計	7	5		2	1	4	19

注１：　日本酒用の（　）書きは、酒造好適米で内数。
　２：　加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米約11万トンを含んでいない。
　３：　焼酎は単式蒸留しょうちゅう（穀類又はいも類、これらの麹等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの（酒税法第３条第10号））であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。
　４：　その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。
　５：　特定米穀とは、水稲収穫量調査で使用するふるい目1.7㎜と農家が出荷の際に使用する1.75～1.9㎜の間の「ふるい下米」と、1.7㎜未満の小さな粒の米の総称。
　６：　ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

【推計根拠】
１　用途別の原料米使用量合計は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。
　日本酒用・・・「清酒の製造状況等について」（国税庁）
　焼酎用・・・「課税移出数量」（国税庁）
　米菓用、米穀粉用、加工米飯用、味噌用、包装もち用、その他用・・・「食品産業動態調査」（農林水産省）による生産量等
２　制度別の使用状況は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。
　主食用米・・・全国出荷団体等からの聞き取り。
　　なお、酒造好適米は「酒造好適米の需要量調査」（農林水産省）等に基づく推計
　加工用米・・・「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」（農林水産省）に基づく報告
　新規需要米（米粉用米）・・・「米粉をめぐる状況について」（農林水産省）等に基づく推計
　ＭＡ米（ＳＢＳ含む）・・・「販売実績」（農林水産省）
　輸入米粉調製品・・・「貿易統計」（財務省）
　特定米穀・・・１で推計した用途別原料米使用量から主食用米、加工用米、新規需要米（米粉用米）、ＭＡ米及び輸入米粉調製品を差し引いた数量

（３）加工原材料用米穀の使用状況（推計）の推移

＜うるち米＞　　（単位：万玄米トン）

用　途	米穀年度	主食用米	加工用米	新規需要米（米粉用米）	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
日本酒用	29	12 （10）	9		3			24 （10）
	30	11 （9）	9		4			24 （9）
	元	11 （9）	9		3			23 （9）
	2	9 （8）	8		3			21 （8）
	3	9 （7）	6		3			18 （7）
米菓用	29	1	2		4	5	1	13
	30	1	1		5	5	2	13
	元	1	2		5	3	2	13
	2	1	1		6	3	2	13
	3	1	2		5	3	2	12
加工米飯用（無菌包装米飯除く）	29	5	5					11
	30	5	6					11
	元	4	7					11
	2	4	6					10
	3	2	8					10
味噌用	29		1		2	7		10
	30		1		2	7		10
	元		1		3	5		10
	2		1		3	5		10
	3		1		4	4		9
焼酎用（泡盛含む）	29		2		3	2		8
	30		2		3	2		7
	元		1		4	2		7
	2		1		4	2		7
	3		1		3	1		6
米穀粉用	29		1	2	1	2	1	8
	30		1	3	1	2	1	8
	元		1	3	1	2	1	9
	2		1	3	1	2	1	9
	3		1	4	1	2	1	8
その他用	29	1	1		1	1		4
	30	1	2		1	1		4
	元	1	1		1	1		4
	2	1	2		1	1		4
	3	1	1		1	1		4
合計	29	19	22	2	15	18	2	78
	30	18	21	3	16	16	3	77
	元	16	22	3	18	13	3	76
	2	15	20	3	18	13	3	72
	3	12	20	4	17	11	3	67

＜もち米＞　　（単位：万玄米トン）

用　途	米穀年度	主食用米	加工用米	新規需要米（米粉用米）	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	29	3	3				1	8
	30	2	3				1	7
	元	3	3				1	8
	2	4	3				1	8
	3	4	3				1	8
米菓用	29	1	2		1	1	1	6
	30	1	2		1	1	1	6
	元	1	2		1	1	1	6
	2	1	2		1	1	1	6
	3	1	2		2		1	6
米穀粉用	29	1	1				1	3
	30	1	1				1	3
	元	1	1				1	3
	2	1	1				1	3
	3		1				1	2
加工米飯用（無菌包装米飯除く）	29	1						1
	30	1						1
	元	1						1
	2	1						1
	3	1						1
その他用	29						1	2
	30						1	2
	元						1	2
	2						1	2
	3						1	2
合計	29	6	6		1	2	5	19
	30	6	6		1	1	5	19
	元	6	5		1	2	5	19
	2	6	5		2	1	4	19
	3	7	5		2	1	4	19

注１：　日本酒用の（　）書きは、酒造好適米で内数。
２：　加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米を含んでいない。
３：　焼酎は単式蒸留しょうちゅう（穀類又はいも類、これらの麹等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの（酒税法第３条第10号））であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。
４：　その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。
５：　特定米穀とは、水稲収穫量調査で使用するふるい目1.7㎜と農家が出荷の際に使用する1.75～1.9㎜の間の「ふるい下米」と、1.7㎜未満の小さな粒の米の総称。
６：　ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

3　酒造好適米の需給状況

（1）日本酒の出荷状況

- 日本酒の国内出荷量は、ピーク時（昭和48年）には170万klを超えていたが、他のアルコール飲料との競合などにより、近年は40万klを下回る水準まで減少。
- 消費者の志向が量から質へと変化していることから、国内出荷量全体に占める特定名称酒（吟醸酒、純米酒等）の割合は増加傾向で推移。
- 令和２年以降については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により日本酒の国内出荷量が大幅に減少。
- また、輸出については、日本食ブーム等を背景に近年増加傾向で推移。

日本酒の国内出荷量の推移

（千kl）

	平成10年	15年	20年	25年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年（1～4月）	対前年同期比
日本酒国内出荷量	1,133	871	659	580	495	467	419	404	404	390	378	118	97%
特定名称酒	291	221	174	164	171	165	142	138	145	146	143	44	100%
吟醸酒	34	30	20	21	23	22	20	19	20	19	19	5	107%
純米吟醸酒	25	26	24	29	45	45	40	42	46	48	47	15	98%
純米酒	62	54	57	58	64	62	55	53	55	55	55	18	101%
本醸造酒	169	111	73	56	38	35	27	24	25	24	22	6	95%
一般酒	842	650	485	416	324	302	276	266	259	245	234	74	96%

資料：日本酒造組合中央会調べ。年は暦年。令和6年、7年は概算値。石川県のデータが令和5年12月以降一部未集計。
注1：日本酒は、一般酒のほか、原料米及び製造方法などの諸条件（原料、精米歩留）により、吟醸酒、純米酒、本醸造酒等に分類され、これらを総称して「特定名称酒」という。一般酒は、日本酒国内出荷量から特定名称酒の数量を差し引いて算出。
注2：国内出荷量には輸出量は含まれていない。

日本酒の輸出量の推移

（千kl）

	平成10年	15年	20年	25年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年（1～4月）	対前年同期比
日本酒輸出量	8	8	12	16	26	25	22	32	36	29	29	11.0	110%
アメリカ合衆国	1	2	4	4	6	6	5	9	9	7	7	2.6	101%
中華人民共和国	0	0	0	1	4	5	5	7	7	6	6	2.2	142%
香港	1	1	1	2	2	2	3	3	3	2	2	0.7	102%
台湾	4	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	1.0	101%
大韓民国	0	0	2	4	5	3	2	2	4	4	4	2.0	107%
その他	2	2	3	4	6	6	5	8	10	7	7	2.6	108%

資料：「貿易統計」（財務省）。年は暦年。

（2）日本酒原料米の使用状況

- 日本酒の原料米は、一般的に主食用としても流通している品種のほか、醸造用に適した品種である山田錦、五百万石などの「酒造好適米」が使用されている。
- 日本酒原料米の使用量は、平成25～29年産では、製品当たりの米の使用量が多い特定名称酒の出荷が増加していたため、24～25万トン程度で推移していたが、平成30年産以降は、特定名称酒も減少に転じたこと等から、18～23万トン程度で推移。

日本酒原料米の使用状況

（千トン）

	10年産	15年産	20年産	25年産	30年産	元年産	2年産	3年産	4年産	5年産	対前年比5/4年
日本酒原料米	405	315	261	243	227	206	180	184	198	192	104%
酒造好適米	99	75	77	76	88	83	70	67	73	80	119%
加工用米	86	89	74	95	90	85	63	67	71	68	101%
その他	220	151	110	72	49	38	47	50	53	45	89%

資料：農林水産省による推計値。

（３）酒造好適米の生産量

- 酒造好適米の生産量（農産物検査数量）については、作付面積が増加し、作柄が良かった平成27年産の109千トンをピークに減少傾向で推移。
- 令和２及び３年産は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、日本酒の国内出荷量が急減したことから、生産抑制が行われ、生産量が大幅に減少。

酒造好適米の生産量（農産物検査数量）の推移

（トン）

	平成10年産	15年産	20年産	25年産	30年産	令和元年産	２年産	３年産	４年産	５年産	６年産	対前年産比
酒造好適米	99,448	74,854	76,788	75,813	95,856	96,454	85,179	74,756	79,472	91,630	94,539	103.2%
山田錦	24,639	22,853	21,399	23,081	33,916	34,644	28,342	27,609	28,168	34,608	33,952	98.1%
五百万石	33,282	23,169	24,186	20,602	21,203	19,767	17,561	13,612	14,970	17,072	17,469	102.3%
美山錦	11,304	7,487	7,016	6,426	6,408	6,475	5,710	3,816	3,742	4,525	4,654	102.9%
雄町	2,502	1,827	1,780	1,700	2,723	2,932	1,987	2,289	2,677	3,142	2,965	94.4%
その他	27,721	19,518	22,407	24,004	31,607	32,636	31,578	27,429	29,915	32,283	35,500	110.0%

資料：「農産物検査結果」（農林水産省）
注：令和６年産は、令和７年３月31日現在の速報値を直近３カ年の３月31日現在の農産物検査の進捗率により確定値見合いに推計したもの。

（４）酒造好適米の需要量

- 酒造好適米の需要量は、令和６年７月に実施した需要量調査の結果により推計したところ、令和６年産が81～83千トン程度、令和７年産が82～84千トン程度と見込まれる。

酒造好適米等の需要量調査結果

（トン）

	令和4年産	5年産		6年産		7年産	
			対4年産比		対4年産比		対4年産比
酒造好適米の需要量調査結果（実数）	60,124	65,406	108.8%	67,446	112.2%	67,903	112.9%
山田錦	24,058	27,485	114.2%	28,533	118.6%	28,573	118.8%
五百万石	12,252	13,054	106.5%	13,085	106.8%	12,880	105.1%
美山錦	2,861	2,975	104.0%	2,993	104.6%	3,005	105.0%
雄町	1,510	1,623	107.5%	1,571	104.0%	1,597	105.8%
その他	19,443	20,268	104.2%	21,265	109.4%	21,848	112.4%
酒造好適米の全体需要量（推計）	73～74千トン	79～81千トン		81～83千トン		82～84千トン	

資料：「令和６年度 酒造好適米等の需要量調査結果」（農林水産省）
注１：「酒造好適米の需要量調査結果（実数）」は、令和６年度酒造好適米等の需要量調査において回答のあった酒造メーカーの需要量の積み上げの実数。
２：「酒造好適米の全体需要量（推計）」は、令和６年度酒造好適米等の需要量調査において回答のあった酒造メーカーの需要量が全体需要量の約81～83%と推計されるため、各年産の需要量を当該割合で除することにより推計。

産地銘柄毎の需要量等の酒造好適米に関する詳細な情報は、以下ＵＲＬの「日本酒をめぐる状況」及び「酒造好適米等の需要量調査結果等」を参照ください。
ＵＲＬ：https://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/kikaku/sake.html

別冊「資料編」では、より詳細な情報をご覧いただけます。

― 別冊「資料編」の目次 ―

1 米の需給
主食用米等の需給見通し（米の基本指針（令和7年3月26日））　需給-1

2 米の在庫情報
令和4・5年産の産地別民間在庫の推移（うるち米）　在庫-1　Excel

3 米の価格情報
1 米の相対取引価格の推移（通年平均価格）（平成20年産～令和5年産）　価格-1　Excel
2 スポット価格の状況（株式会社クリスタルライス）　価格-4
3 米の現物市場の状況　価格-5
4 堂島取引所による米穀指数市場（先物取引）の状況　価格-6

4 米の契約・販売情報
1 令和5年産米の産地別契約・販売状況（累計、うるち米）　契約-1　Excel
2 政府備蓄米の買入入札の結果（落札実績）（平成24年産～令和6年産）　契約-7

5 支援事業等
（1）水田活用の直接支払交付金等　支援-1
（2）畑地化促進事業　支援-2
（3）畑作物産地形成促進事業　支援-3
（4）コメ新市場開拓等促進事業　支援-4
（5）小麦・大豆の国産化の推進　支援-7
（6）畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策）　支援-8
（7）米・畑作物の収入減少影響緩和交付金（ナラシ対策）　支援-10
（8）収入保険　支援-13
（9）主食用米の需給安定の考え方、米穀周年供給・需要拡大支援事業　支援-15
（10）コメ海外市場拡大戦略プロジェクト　支援-17

6 その他
（1）水稲うるち玄米の農産物検査結果　その他-1
（2）国産飼料用米の需要情報　その他-2
（3）麦・大豆の需要情報
① 令和７年産麦の産地別銘柄別入札結果　その他-4
② 令和６年産大豆の産地品種銘柄別入札結果　その他-6
（4）野菜等の需給情報　その他-11
（5）令和６年産水稲の収穫量　その他-15
（6）年産・都道府県別の主食用米作付面積及び収穫量等の推移　その他-24

○米に関する各種情報は「米に関するメールマガジン」でも毎月発信中です。登録方法は下記URLを参照ください。
http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html